

# 自然の

②



タヌキ

ある夜、自然の家でキャンプファイアーを楽しんでいた緑の学校の子供達の中へ、子ダヌキが一匹紛れ込み、子供達を喜ばす。次の夜、カゴに入れて森の奥へ置いたら、無事に親が連れ去った。森は中央広場で標高600m、気温は市街地より2~3度低い。雨と霧が森の木々をはぐくむ。キブシ、ミツマタ、アセビは早くも、来春のツボミを用意している。

夏中森に芳香を漂わせていたヤマユリも衰える頃、キャンプも少なくなり、森は静かになる。管理道沿いに、ホトトギス、リンドウ、キツネノカミソリ、クサボタン、ツリフネソウ、タマアジサイ、シデシャジンの花を数える。コナラの緑の実も固くなり、美しい姿のカケスが集まる。リスも負けてはいない。木の実を求めて、枝から枝へと飛ぶ。

# ぼくらの作品 わたしの作品



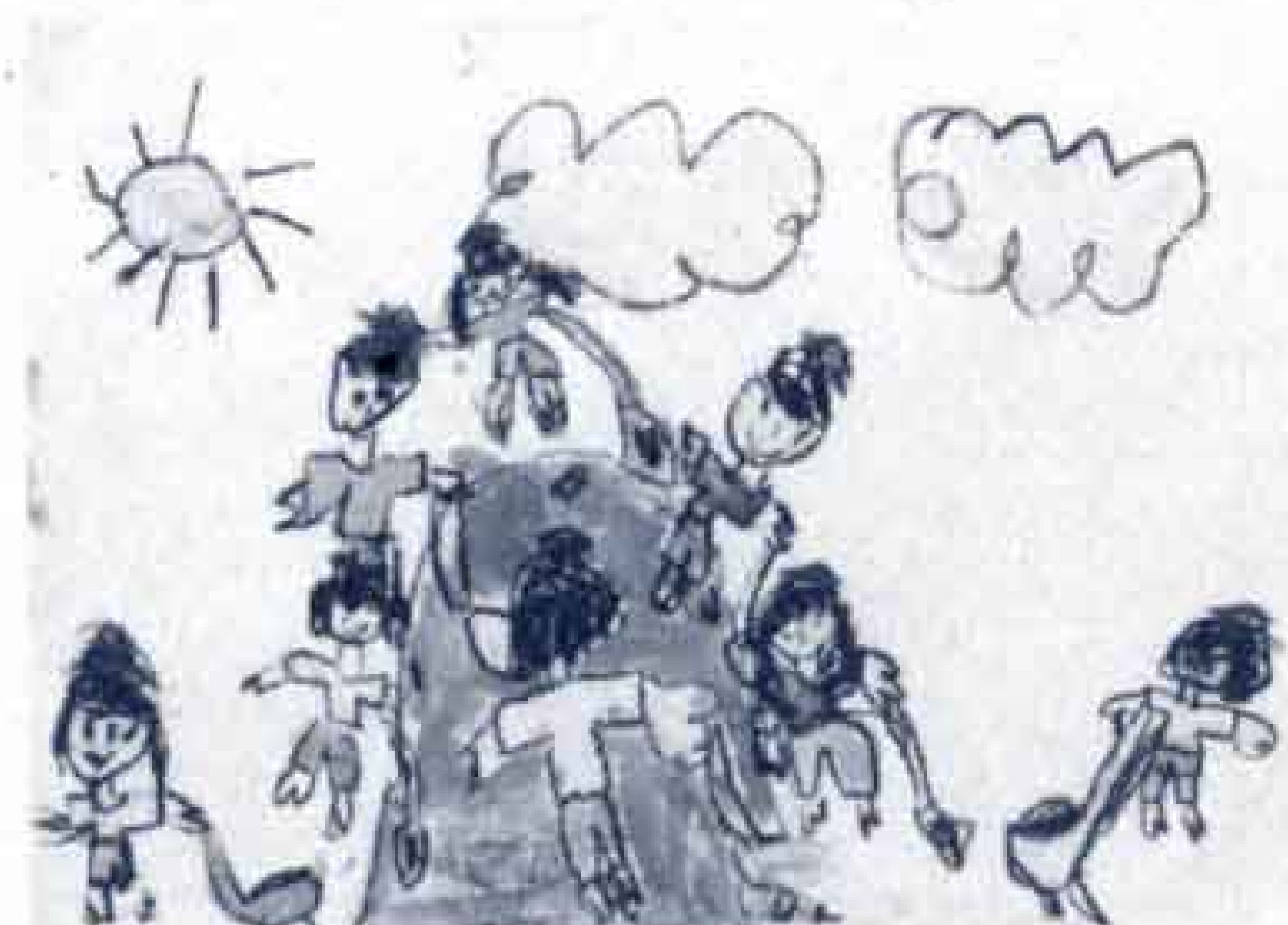
田子の浦港へ、みんなで見に行ったカーフェリーの絵と、幼稚園のさつまいも畑を作ろうと、土を運んでいる様子を書いてくれた、田子浦幼稚園のおともだちの作品を紹介します。



「わがまなぶ」



ぼくも、かじをまわしたよ。おおきくなったら、カーフェリーをうんでんしてみたいな。



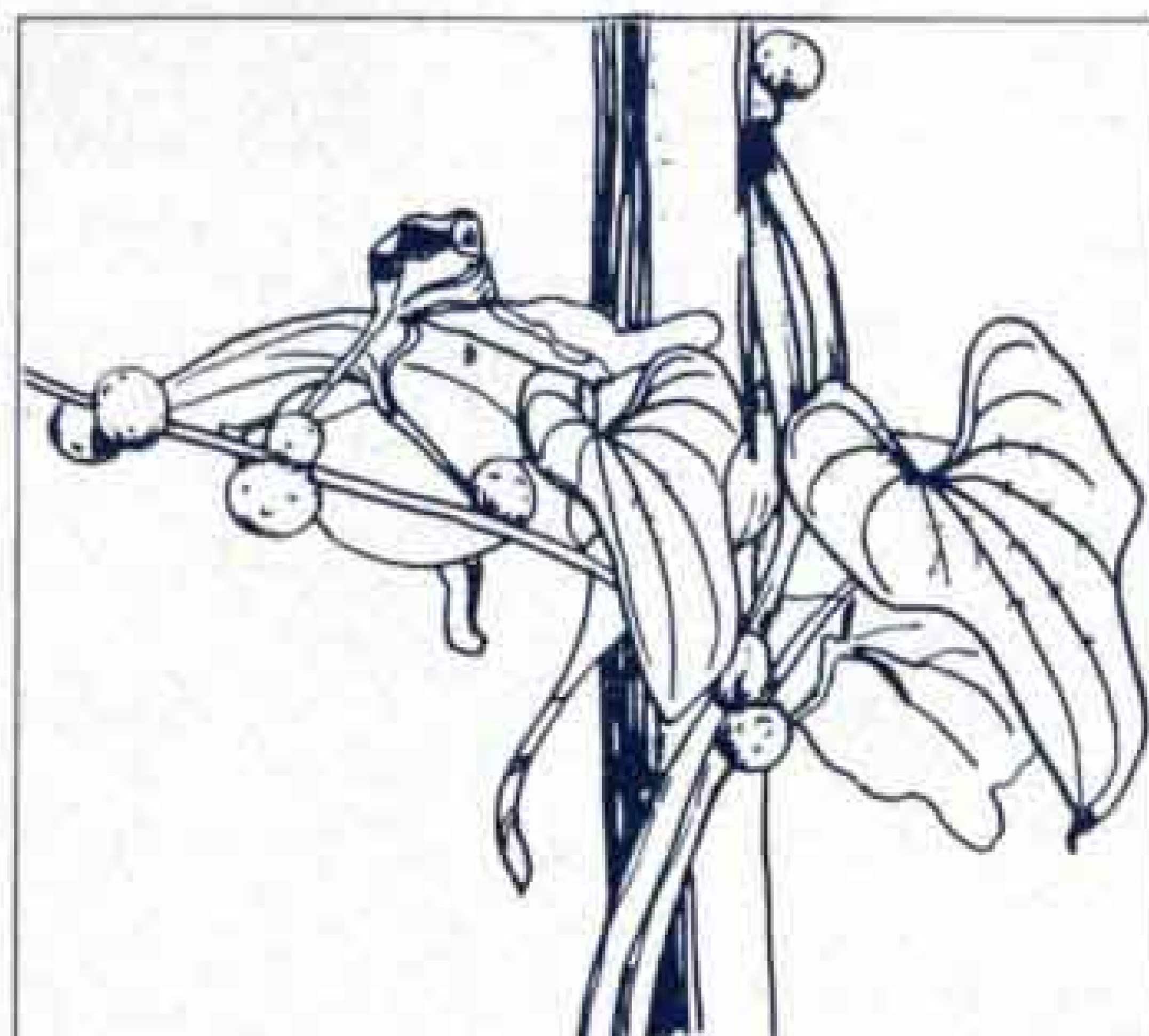
「きむらしほ」



さつまいもだいすき。おかあさんに料理してもらって、はやくたべたいな。

## 薬草のおはなし⑱

薬草名 ヤマノイモ  
生薬名 さんやく 山薬  
薬効 滋養・強壯



各地の山野に野生するつる性の多年草で、とろろ汁の原料。畑で栽培するナガイモとともに利用されるが、野生のヤマノイモのほうがうまいとか効くとかいうので、隠れた人気を持っている。自然の山野に野生するので自然生とも呼ばれる。

生薬のさんやく(山薬)は、外側の皮を除いて乾燥する。

乾燥した根(山薬)200gをこまかく碎き、グラニュー糖150gとともにホワイトリカー1.8ℓに漬け、2~3ヶ月後にこす。1日1回30ccを、就寝前に飲むとよい。